

## 平成 29 年度 発達早期支援モデル事業 親子教室「あそびのひろば」

	事業内容
事業概要	1歳6か月児健診で「言葉の発達の遅れ」「落ち着きがない」等の心配がある子どもに対し、アセスメントを行い、早期支援を実施する。 ※モデル事業として、2クール実施 1クール目 8回（月2回×4か月） 6月～9月 2クール目 8回（月2回×4か月） 10月～1月
参加者	1クール目 17人 2クール目 15人
会場	城東保健福祉センター 多目的室
スタッフ	<教室運営スタッフ> ・コーディネーター（臨床心理士） 1名 ・音楽療法士 2名 ・保育士 3名 ・ペアレントメンター 1～2名 <教室担当> ・保健師
会の流れ	1) 9:00～ 受付・自由遊び 2) 9:30～ 朝の会（あいさつ、朝の歌、お返事、歌・手遊びなど） 3) 9:45～ 親子体操・あそび（家でもできるふれあい遊びなど） — 休憩・水分補給 — 4) 10:15～ 絵本の読み聞かせ 5) 10:20～ 帰りの会（帰りの歌、次回の連絡、あいさつ） 6) 終了後、スタッフカンファレンス
1クール目終了後の繋ぎ先【重複あり】	・医療機関（医療福祉センターなど） 8人 ・いこいの家親子教室 6人 ・ちゅうおうおやこあそびくらぶ（きらり主催） 4人 ・保健福祉センターでの心理相談 3人 ・地区担当保健師フォロー 等

～1歳6か月児健診と連携した早期支援体制のイメージ～

静岡県障がい者共生のまちづくり計画（案）より

